

国民健康保険料を

10%引き下げます

国民健康保険は、ご存知のとおり加入者が納める「保険料」と、国からの「補助金」で賄う特別会計事業です。

課は、前年度と同額で納めていた

保険給付基金を設置

この一・二年の医療費は、国民健康保険に対する加入者のご理解により、伸び率が鈍化しています。その結果、昭和五十三年の保険給付費の支払いは、五十二年に比べて自然増の一〇%程度の上昇にとどまっています。

特別会計国民健康保険費（事業勘定）が前年度において、決算上の剰余金であった場合、一〇分の一以上の額を「保険給付基金」として積み立てます。それを財源として、今後の保険料の引き上げを最小限に抑えるとともに、医療費の急増に備えることにしました。

水道料領収書のおて名が

漢字からカタカナに

水道業務を合理化するために、昭和五十四年度から事務の一部をコンピュータで処理することになりました。その結果、四月から水道料領収書のおて名が「漢字」から「カタカナ」に変わります。水道課では、水道使用者の住所・

氏名などを十分に調べ、カタカナに変えたのですが、万一、記載した氏名などに誤りがありましたら、水道課（☎④一一一一）または水道料金徴収委託者にご連絡ください。台帳を訂正し、正しいおて名に変えさせていただきます。

ボーイスカウト

隊員募集

ボーイスカウトの隊員を募集します。

▼編成 カブ隊（小学三年→五年）
小年隊（小学六年→中学三年）
長隊（高校生年齢）青年隊（十八歳→二十四歳）

▼経費 自分の制服や訓練用品を負担するほか、小額の団費を納めますが、団ごとに育成団体がありません。運営費の一部を受けています。▼申込みの方法 近くの隊員、または市役所教育課へ

農業マイクロ実験場だより (4月)

家庭菜園の予備知識

種まきと肥料

◎四月中の種まき野菜

ホウレンソウ、フダンソウ、三寸ニンジン、小カブ、サントウサイ、時無ダイコン、パレイシヨ。

◎種のまき方と肥料のやり方

うね幅六〇センチの溝を作り、溝の中に元肥として完熟たい肥や燐硝安加里、尿素などを、種をまく七日から十二日前にあたえます。肥料は土とよく混ぜ、その上に種をばらまきし、土はごく薄くかけます。酸性に弱い野菜（ホウレンソウ、ニンジン）を作るときは、特に石灰が必要です。三、三平方メートルに肥料用石灰を五百〜千二百グラムあたえます。

燐硝安加里を三、三平方メートルの畑にあたる場合は、ホウレンソウ、フダンソウ、サントウサイには三百〜六百グラム、ダイコン、ニンジン、小カブには七百〜千二百グラム必要です。

病気と害虫の防ぎ方

◎キュウリ、ナス、ハクサイにつくウドンコ病 日照、風通しをよくし、モレスタン水

和剤を二千〜三千倍液にして散布

◎ウリ類、ハクサイ、ネギ、ホウレンソウにつくべト病

病害を取り除き、日中風通しをよくし、ダイセンやダイファを四百倍液にして散布

◎ウリ類、マメ類につくタンソ病 病害の部分を取り除き、ペンレート水和剤を二千〜三千倍液にして散布

◎キャベツ、ハクサイ、ネギ、ウリ類につくコクハン病 ダイセンやダイファを四百倍液、ダコニールを六百〜八百倍液にして散布

◎野菜全般につくアブラムシ 日照、風通しをよくし、マラソン乳剤を千五百〜三千倍液にして散布

◎ダイコン、キャベツ、ハクサイ、ナスにつくヨトウムシ 種まき前にアルドリンを三、三平方メートルに四〇〜五〇グラム散布、DDVPを千倍〜二千倍液にして散布

◎キャベツ、ハクサイ、ダイコンにつくシンクイムシ、アオムシ、ダイプレックスを千〜千五百倍液にして散布、DDVPを千〜二千倍液にして散布